

## 事業の種類別セグメント情報

当セグメント情報では、以下のとおり、「機械加工品事業」「電子機器事業」「流通販売事業ほか」の3事業に分類して、各事業の当期の業績結果を含む事業概況及び来期の見通しをご説明します。

### 機械加工品事業

#### ベアリング及びベアリング関連製品



ボールベアリング



ボールベアリング  
(ROベアリング)



ピボットアセンブリー



ロボットエンド・ベアリング



スフェリカル・ベアリング

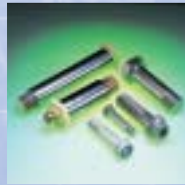


ジャーナル・ベアリング

#### その他機械加工品



ローラー・ベアリング



ネジ類



特殊機器



ソレノイド・バルブ

### 電子機器事業

#### 回転機器



HDD用  
スピンドルモーター



ハイブリッド型  
ステッピングモーター



PMステッピングモーター



ファンモーター



DCブラシレスモーター



VRレゾルバ

#### その他電子機器



PC用キーボード



スピーカー



スイッチング電源



光磁気ディスクドライブ  
(MOD)



反射型カラー液晶用フロント  
ライト・アセンブリー



計測機器(ひずみゲージ、  
ロードセルなど)

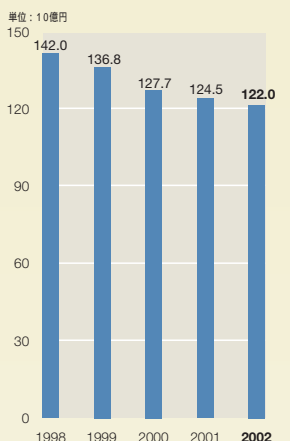
### 流通販売事業ほか

家具やインテリア商品など

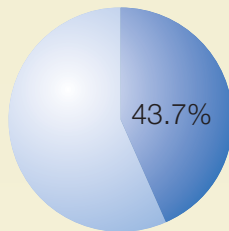
(注：2001年2月に、当事業を行っておりました子会社の株式会社アクタスを株式会社ティー・アール・エスに譲渡致しました)

## 機械加工品事業

売上高の推移



全体に占める売上高比率



### 主要製品

ベアリング及びベアリング関連製品

ミニチュア・ボールベアリング

小径ボールベアリング

シャフト一体型ボールベアリング

ROベアリング

流体軸受

ロッドエンド・ベアリング

スフェリカル・ベアリング

ローラー・ベアリング

ジャーナル・ベアリング

ピボットアッセンブリー

テーブガイド

その他機械加工品

航空機用 / 自動車用ネジ類

特殊機器

電磁クラッチ / 電磁ブレーキ

ソレノイド・バルブ

### 2002年3月期のハイライト

軽井沢製作所をリニューアルし、開発を中心としたマザー工場としての機能を強化しました。

車輪事業からの撤退を完了しました。

### ボールベアリング市場の状況

情報通信関連機器市場が低迷しましたが、後半から回復基調となりました。

エアコンやクリーナーなど家電を中心とした中国市場が引き続き拡大しており、今後もさらに続く基調です。

流体軸受のHDD用スピンドルモーターへの採用が本格的になりました。

### 課題と基本戦略

家電のデジタル化や自動車の電子制御化、中国市場の拡大など中長期的にもボールベアリングの需要は拡大することが確実であり、収益面での中期経営計画の柱としてさらに拡充をはかります。

当事業の売上高は前期比2.0%減の1,220億2,500万円となり、連結売上高の43.7%を占めました。営業利益は、製造コスト低減の効果などにより、前期比7.4%減の221億3,500万円となり、売上高営業利益率も18.1%と高水準を維持しました。

主な製品別事業概況は以下のとおりです。

#### ベアリング及びベアリング関連製品

ボールベアリングは、一部の家電製品と自動車業界向け販売は堅調でしたが、ピボットアッセンブリーと共に情報通信関連機器業界向けの需要が低迷したため、全体として低調に推移しました。一方、ロッドエンド&スフェリカル・ベアリングの売上高は、堅調に推移しました。

この結果、「ベアリング及びベアリング関連製品」の売上高は前期比1.0%減の1,001億1,400万円となりました。

#### ボールベアリング

当期は、パソコンを中心とした情報通信関連機器業界向けの需要の低迷や、ファンモーター並びにステッピングモーターなど社内向けが減少したことなどにより、社内使用分を含む販売数量は月間1億1,000万個～1億2,000万個レベルと低調に推移しました。しかし、中国市場を中心に、エアコンやクリーナーなどの家電製品向けの販売数量は好調に推移し、期末には月間1億4,000万個レベルに増加しました。

2003年3月期は情報通信関連機器向けの需要回復と共に、家電製品や自動車向けの需要増を見込んでおり、また、モーター事業部門の拡大に伴い、社内向け販売も大きく伸びる見込みです。さらに、家電製品を中心とした中国市場がさらに拡大を続ける一方、自動車の電子制御化に伴うモーター向けの需要増大など、ボールベアリングへの需要は中長期的に見ても大きな増大基調にあります。また、前期に引き続き製造コスト低減に徹底的に取り組んでおり、今後の需要増大に伴い収益を大きく向上させることとなります。

## ロッドエンド&スフェリカル・ベアリング

主要マーケットである航空機業界向けは受注・販売共に期の前半は販売も好調に推移しました。後半は米国の同時多発テロの影響を受け受注が大幅に減少しましたが、受注残の消化により販売は堅調に推移しました。テロの影響は来期も続く見込みであり、中・小型機市場等の拡販・開拓と共に、生産効率の向上に重点的に取り組む計画です。

## ピボットアッセンブリー

当製品の販売先であるHDD業界の不振の影響を受けて、需要は低調に推移しました。来期は、当社ピボットアッセンブリーのシェアが低いHDDメーカー向けの拡販と新規参入を積極的にはかることにより、収益率を高める計画です。

## その他機械加工品

「その他機械加工品」の売上高は、当期に清算した車輪事業の売上高の減少により、前期比6.2%減の219億1,100万円となりました。

## ネジ類

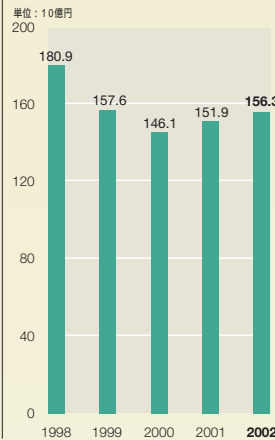
自動車向けの販売は低調でしたが、航空機向けは堅調に推移し、売上高はほぼ横這いでした。また、来期は、前期から取り組んでいる生産品目の見直しの効果も期待され、高付加価値製品の比率をさらに高めることにより、収益の改善をはかって参ります。

## 特殊機器

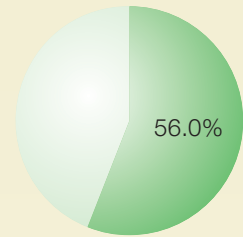
防衛関連の売上高は防衛庁中期計画に沿った計画どおりの結果となりました。来期もほぼ横這いの見込みです。

## 電子機器事業

売上高の推移



全体に占める売上高比率



### 主要製品

#### 回転機器

ハードディスクドライブ (HDD)用スピンドルモーター

ハイブリッド型ステッピングモーター

PMステッピングモーター

DCブラシレスモーター

ファンモーター

電動パワーステアリング用

DCブラシレスモーター

VRレゾルバ

#### その他電子機器

PC用キーボード

スピーカー

エレクトロデバイス製品

フロッピーディスクドライブ

(FDD)サブアッセンブリー、FDD

用磁気ヘッド、光磁気ディスクドライブ(MOD)

反射型カラー液晶用

フロントライト・アッセンブリー

パワーエレクトロニクス製品

スイッチング電源、インダクター、

ハイブリッドIC

計測機器

ひずみゲージ、ロードセル

### 2002年3月期のハイライト

シンガポールの計測機器事業部門を中国に移管しました。

### 市場の状況

情報通信関連機器市場が低迷した影響を受け、ファンモーター、ステッピングモーター、スイッチング電源、FDDサブアッセンブリーなどの製品が低調に推移しました。

流体軸受搭載型HDD用スピンドルモーターの需要が大きく伸びました。

家電製品のデジタル化や自動車の電子制御化がさらに進み、精密小型モーターを中心とした当社の電子機器の将来的な市場がさらに拡大しました。

## 課題と基本戦略

市場の変化や価格低下に対応する高付加価値製品の比率を高めるために、開発技術力の強化を最重要課題として取り組んでいます。

主要ユーザーの中国への生産拠点移管に的確に対応できるように製造拠点をさらに強化し、中国地域の営業体制を再編しました。

HDD用スピンドルモーター、ファンモーター、自動車用回転機器を中心に、回転機器をベアリングに並ぶ柱に育てるという基本路線をさらに推進します。

当事業の売上高は、主要市場である情報通信関連機器業界の市場環境が厳しい中で、HDD用スピンドルモーターやPC用キーボード等が好調に推移し、前期比2.9%増の1,563億300万円となり、連結売上高の56.0%を占めました。営業利益は、厳しい価格競争、情報通信関連機器向けの需要低迷及びHDD用スピンドルモーターの先行投資負担の影響などにより1億6,300万円の赤字となりました。

主な製品別事業概況は以下のとおりです。

### 回転機器

ファンモーターやステッピングモーターの売上高は減少しましたが、HDD用スピンドルモーターが流体軸受搭載型を含めて好調に推移しました。この結果、「回転機器」の売上高は前期比3.9%増の764億4,000万円となりました。

### HDD用スピンドルモーター

2001年の秋以降に流体軸受搭載型モーターが本格的に採用されたこともあり、全体として好調に推移しました。

2003年3月期にはシーゲート社向け以外のユーザーへの流体軸受搭載型HDD用スピンドルモーターの納入が開始します。サーバーやワークステーション向けに高評を得ているROベアリング搭載型HDD用スピンドルモーターと合わせて、当期の月産350万～400万台から、来期は月産700万台を視野に入れて増産体制を整える計画です。また、2002年6月に合意した松下電器産業株式会社との2.5インチHDD用流体軸受搭載型モーターの生産委託契約の進捗状況によっては、生産能力の追加的増強を行います。

HDD用スピンドルモーターは、新中期経営計画の達成のカギとなる製品として開発と生産技術の強化に重点的に取り組んでおり、今後の需要動向やユーザーのニーズに合わせて、流体軸受搭載型、ボールベアリング搭載型のどちらでも対応できる体制が整っています。

### ファンモーター

当期はパソコン向けの需要が低調でしたが、高付加価値機種並びローエンド市場向けの高品質・低コスト製品の開発が進み、来期以降の事業拡大に向けた体制が整いました。特に2003年3月期は通信機用やサーバー用の高付加価値製品の事業が本格化することもあり、当期の月産400万台から来期は月産600万台を超える生産体制に増強する計画です。

### ステッピングモーター

OA機器向けの需要低迷と低価格化等により、当期の売上高は低調に推移しました。来期は、製造コストの一層の低減をはかると共に拡販を進め、収益の改善に努めます。

### 自動車用回転機器

現在、生産を行っている電動パワーステアリング用DCブラシレスモーターやヘッドライト光軸調整用のステッピングモーターに加えて、車間距離センサー用モーターや電動ブレーキ用モーターなどの開発を進めています。新規案件の多くは生産開始が2004年以降であり、2006年3月期以降の収益拡大に大きく貢献する見込みです。

### その他電子機器

フロッピーディスクドライブやMOドライブ等が低調でしたが、キーボードは好調に推移しました。この結果、「その他電子機器」の売上高は前期比2.0%増の798億6,300万円となりました。

### PC用キーボード

PC市場が低調に推移した中で、高付加価値製品の比率を高め、低コスト対応製品の拡販を進めた結果、収益は好調に推移しました。来期は特にノートブック向けの拡販と新規顧客先の開拓を進め、さらに収益性の向上をはかって参ります。

## スピーカー

前期に重点的に取り組んだ合理化の成果もあり、売上高は全体として堅調に推移しました。来期は引き続きPC向けや中高級分野製品の拡販を進めると共に、携帯電話などの市場の新規開拓を進める計画です。

## エレクトロデバイス製品

FDDサブアッセンブリーとMODは共にPC市場の低迷の影響を強く受け、売上高は低調に推移しました。期待していたフロントライト・アッセンブリーの販売も低調な結果となりました。来期は、バックライト・アッセンブリーと合わせて、携帯電話及びPDAの新規市場開拓を進め、拡販をはかって参ります。

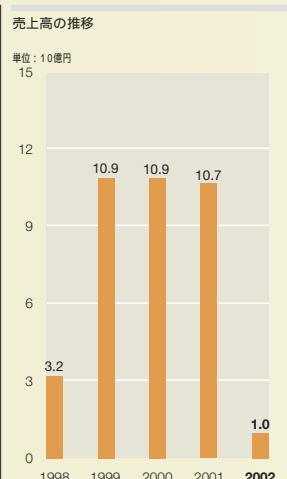
## パワーエレクトロニクス製品

主力製品であるスイッチング電源は低調な結果となりましたが、高付加価値製品によるサーバーやワークステーション市場への参入及び低コスト対応型モデルの開発など、過去2年間重点的に進めた開発の強化と合理化の成果が表れてきています。

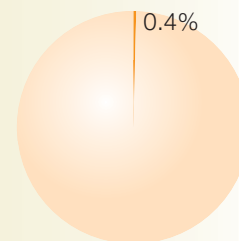
## 計測機器

国内市場の景気低迷の影響もあり、全体として低調に推移しました。当期は、はかりを中心とした中国の計測機器市場の拡大に対応するため、シンガポールの計測機器事業部門を中国に移管しました。

## 流通販売事業ほか



全体に占める売上高比率



前期に家具輸入販売子会社の株式会社アクタスを売却し、当期は契約に基づき2002年2月までの買い付け業務のみを請け負ったため、「流通販売事業ほか」の売上高は前期の106億7,400万円から10億1,600万円に大幅に減少致しました。前期8億1,200万円であった営業利益は、当期は発生しませんでした。

当事業は、当期をもって終了致しました。